

# 出 会 い の 森

玉津小学校便り No.10

(令和8年2月2日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

## いつまでも つながりを大切に

校長 廣瀬 尚美

1月1日は能登半島地震、1月17日は阪神・淡路大震災、3月11日は東日本大震災が発生したことから、3学期は、大きな災害が思い起こされ、減災や防災の大切さを実感します。

東日本大震災のときには、津波の被害にあった岩手県釜石市の鵜住居地区において鵜住居小学校と釜石東中学校の子どもたち約570人が全員無事に非難することができた「釜石の奇跡」が話題になりました。

### 「釜石の奇跡」

鵜住居小学校では、地震の直後、まず校舎の3階に児童が集まりました。ところが、3階に集まり始めたころ、隣の釜石東中学校では生徒が校庭に駆け出していました。これを見た小学校の児童は、日ごろから釜石東中学校と行っていた合同訓練を思い出し、自らの判断で校庭に駆け出しました。その後、児童・生徒は約500m先の高台にあるグループホームまで避難しましたが、建物の裏の崖が崩れるのを見た生徒が、教師にもっと高いところへ避難しようと伝え、さらに高台の介護福祉施設まで避難しました。このあと津波が堤防を越えたという消防団や地域の人の声に反応し、子どもたちはさらに高台の石材店まで駆けのぼりました。このあと学校やまちは津波にのみこまれてしまいました。

合同訓練では、「小学生を先導する」「まず高台に逃げる」という教えが徹底され、『避難三原則』①想定にとらわれない ②状況下において最善を尽くす ③率先避難者になるを身につけていました。

このときには、中学生が保育園の園児を助けながら避難していたそうです。海の近くである鵜住居地区では、津波を想定した防災訓練に取り組み、「自分の命は自分で守る」を徹底していたそうですが、実際の津波から逃げる「せっぱつまった中で、他の人の命まで支えてやる」という気持ちが、子どもたちはすごかったなあって思います」と釜石東中学校の先生がおっしゃっていました。一方で、災害時には誰かを救うために尊い命を落としてしまわれた方も多数いらっしゃるの、「まずは自分の安全」が基本であることは忘れてはいけないことです。

阪神・淡路大震災は、滋賀県でも震度5を観測し、強い揺れを感じました。阪神・淡路大震災では、「公助」が困難な中、自助・共助の重要性が認識されました。倒壊した建物から救助されて生き延びることができた人の約8割が家族や近所の住人等によって救出されたことが調査により明らかになったそうです。また、多くのボランティアが被災地に駆けつけ、復旧に貢献し、「ボランティア元年」と言われました。

困難な状況にみまわれると人や地域とのつながりの大切さが実感されます。ふだんからの地域のつながりがあることは、災害への備えの一つと言われます。玉津学区は、ずっとつながりを大切にしていた地域で、そのよい影響が玉津の子どもたちの基盤にあると実感しています。自分を大切にできる、相手を思いやれることは、よりよく成長していくために重要です。これからも、人と地域とのつながりをみんなでつむいでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

自助  
自分の命は  
自分で守る

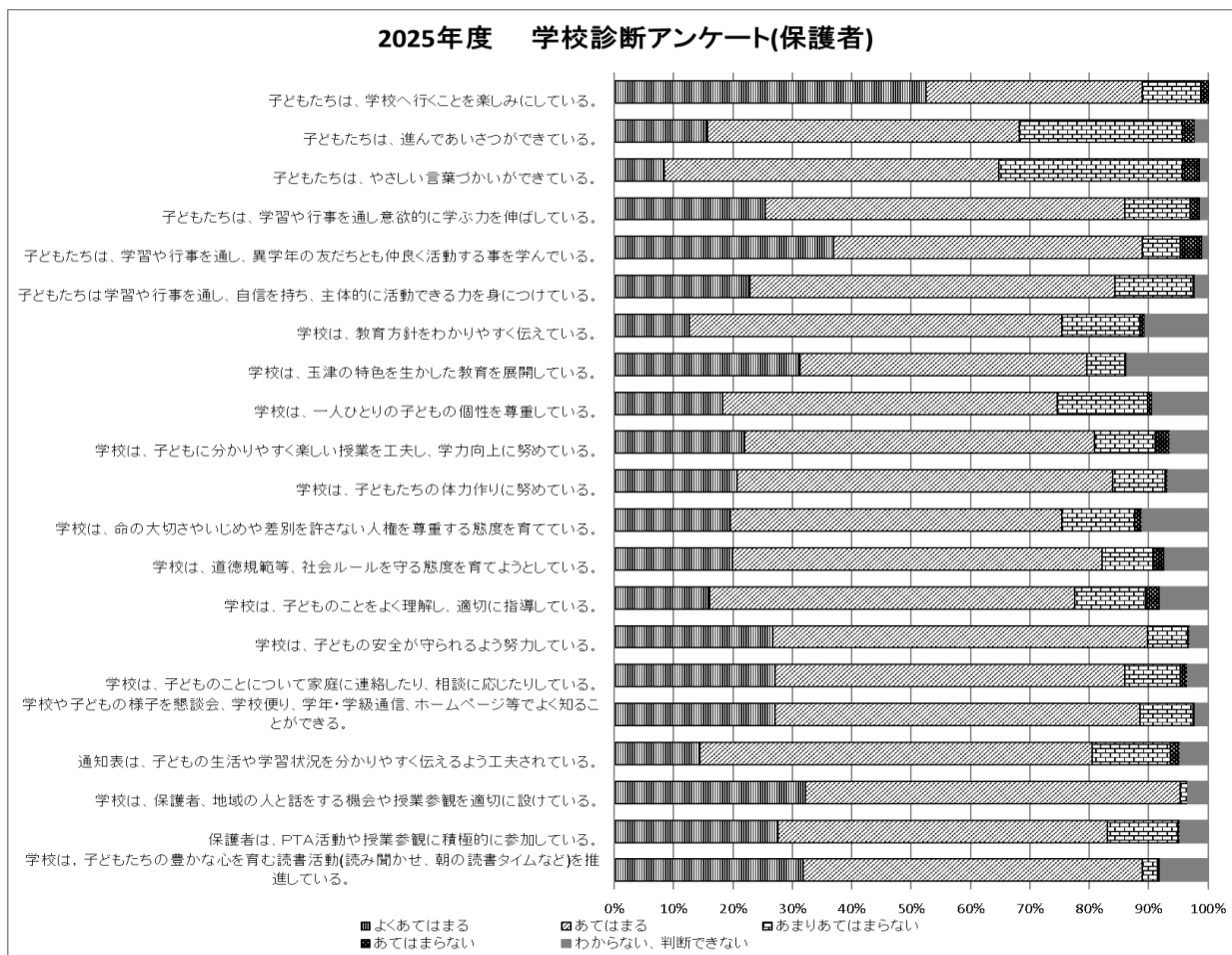
共助  
隣近所で  
協力

公助  
県や市に  
よる対策

## 学校診断アンケート結果から

【回収率 96.3% (236 人／245 人)】

昨年 12 月に学校診断アンケートを実施いたしました。保護者の皆様、学校評議員の皆様には、おいそがしい中ご協力いただき誠にありがとうございました。



回答結果では、「よくあてはまる」「あてはまる」の肯定的な回答が、全 21 項目のうち 13 項目で 80%以上となり、多くの良い評価をいただきました。特に、児童アンケートと同様に「学校へ行くことを楽しみにしている」が高い値を示しており、日頃から前向きに送り出しているご家庭の支えによるものと感じております。

また、異学年交流や読書活動が高い評価となりました。今年度より再開した縦割り活動や、ひばり文庫さんによる読み聞かせが影響していると考えられます。異年齢での交流は、上の学年へのあこがれや、下の子への思いやりが育まれ、さまざまな人との関わり方を学ぶ貴重な機会となっています。読書活動についても、ひばり文庫の皆様によるご支援のおかげで、読書に親しむ機会が増え、子どもたちの豊かな感性の育ちにつながっています。改めて感謝申し上げます。

一方で、「進んであいさつ」「やさしい言葉遣い」の項目は比較的低い結果となりました。児童自身の自己評価と、大人(保護者・学校評議員・教員)による評価に差が見られたため、今後も継続して指導に取り組んでまいります。

また、自転車の乗り方に関する心配の声が寄せられました。学校でも機会をとらえて指導を行いますが、ご家庭でも様子を見ていただき、必要に応じてご指導いただけますと幸いです。

今後も、子ども一人ひとりのよさや課題を見取り、認め励ましながら適切な支援を行ってまいります。皆様からいただいた貴重なご意見につきましては、全職員で共有し、改善することから取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。